

Asset Management

HSBC ブラジル株式ファンド (3ヶ月決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	HSBC ブラジル ニューマザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。MSCIブラジル10／40指数（円ベース）をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル株式ファンド (3ヶ月決算型)	HSBC ブラジル ニューマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ブラジル ニューマザーファンド	主にブラジルの証券取引所に上場している株式等に投資します。
組入制限	HSBC ブラジル株式ファンド (3ヶ月決算型)	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC ブラジル ニューマザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年4回の決算時（毎年2月、5月、8月、11月の各15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定し、毎年5月および11月の決算時には、より高い分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第59期（決算日 2023年2月15日）

第60期（決算日 2023年5月15日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル株式ファンド（3ヶ月決算型）」は、2023年2月15日に第59期、2023年5月15日に第60期の決算を行いましたので、第59期・第60期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

〈お問い合わせ先（投信営業本部）〉

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIブラジル 10/40指数 (円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税分 込配 み金	期中 騰落 中率	(ベンチマーク)	期中 騰落 中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
51期(2021年2月15日)	5,203	0	14.9	8,557	16.3	98.0	—	966
52期(2021年5月17日)	5,317	0	2.2	9,121	6.6	98.0	—	975
53期(2021年8月16日)	5,422	0	2.0	9,142	0.2	96.8	—	947
54期(2021年11月15日)	4,486	0	△17.3	8,109	△11.3	97.0	—	824
55期(2022年2月15日)	4,879	0	8.8	8,964	10.5	98.5	—	906
56期(2022年5月16日)	5,210	0	6.8	9,688	8.1	96.7	—	851
57期(2022年8月15日)	5,588	0	7.3	10,533	8.7	95.3	—	900
58期(2022年11月15日)	5,559	0	△0.5	10,720	1.8	97.0	—	833
59期(2023年2月15日)	4,973	0	△10.5	9,805	△8.5	96.4	—	755
60期(2023年5月15日)	5,334	0	7.3	10,738	9.5	95.0	—	818

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		MSCI ブラジル 10 / 40 指数 (円ベース) (ベンチマーク)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第59期	(期首) 2022年11月15日	円 5,559	% —	10,720	% —	% 97.0	% —
	11月末	5,386	△ 3.1	10,360	△3.4	94.8	—
	12月末	5,018	△ 9.7	9,819	△8.4	94.7	—
	2023年1月末	5,167	△ 7.1	10,103	△5.8	95.4	—
	(期末) 2023年2月15日	4,973	△10.5	9,805	△8.5	96.4	—
第60期	(期首) 2023年2月15日	4,973	—	9,805	—	96.4	—
	2月末	4,990	0.3	9,811	0.1	97.0	—
	3月末	4,846	△ 2.6	9,580	△2.3	93.9	—
	4月末	4,897	△ 1.5	9,828	0.2	95.0	—
	(期末) 2023年5月15日	5,334	7.3	10,738	9.5	95.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

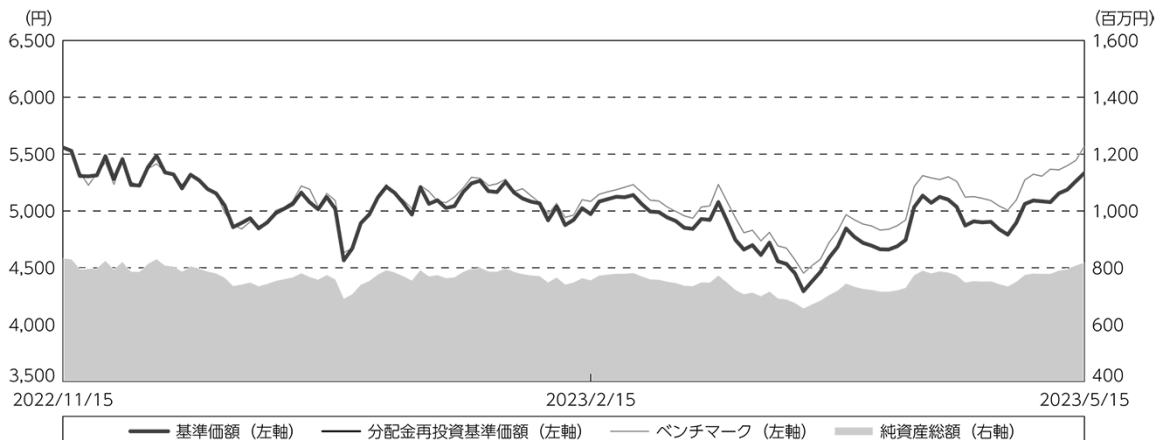
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

※MSCIブラジル10/40指数とは、ブラジルの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCIブラジル指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しています。

○ 当作成期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第59期～第60期：2022年11月16日～2023年5月15日）



第59期首：5,559円

第60期末：5,334円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 4.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2022年11月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、MSCIブラジル10/40指数（円ベース）です。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

ブラジルリアルが対円で上昇し、基準価額にプラスに働きました。

<下落要因>

作成期を通じて組入上位に維持した公益事業のブラジル中央電力、運輸のロカリザ・レンタカーなどの株価が下落し、基準価額にマイナスに寄与しました。

投資環境について

【株式市況】

当作成期のブラジル株式市場では、ボベスパ指数が前作成期末比で4.2%下落しました。株式市場は作成期初から2023年1月初旬までは一定範囲内で推移したのち、主要輸出国である中国の景気回復への期待の高まりなどから1月下旬にかけて上昇傾向となりました。その後、国内では財政を巡る懸念、国外では米国の利上げペース再加速への警戒感を背景に3月下旬にかけて下落傾向となりました。作成期末にかけては、国内のインフレ率の低下に伴う利下げ期待などから途中上下動を見せながらも上昇傾向に転じました。

【為替相場】

当作成期のブラジルレアルは円に対して前作成期末比で6.5%上昇しました。ブラジルレアルは対円で作成期初から2022年12月上旬までは方向感に欠ける動きとなったのち、日本の大規模金融緩和の一部修正やルラ次期大統領（当時）の財政政策を巡る根強い不透明感などから2023年1月初旬にかけて下落傾向となりました。その後、ブラジルレアルは円に対してインフレ率の低下を背景に3月上旬にかけて上昇傾向に転じたものの、ルラ大統領による中央銀行への度重なる批判に伴う投資家心理の悪化から3月下旬にかけて下落しました。作成期末にかけてブラジルレアルの対円相場はインフレ沈静化への期待の高まりにより上昇傾向に転じました。

原則として、指数の騰落率は作成期首・作成期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は作成期首・作成期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

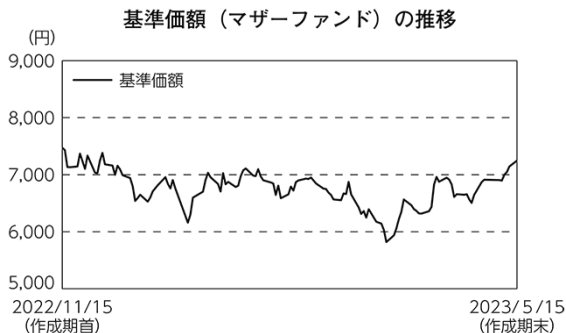
<HSBC ブラジル株式ファンド（3ヶ月決算型）>

「HSBC ブラジル ニューマザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの株式等に投資しました。

<HSBC ブラジル ニューマザーファンド>

セクター別では、世界的なコモディティ価格の上昇を追い風とする素材、堅調な消費の恩恵を受けると考えられる一般消費財、合併による相乗効果が期待されるハブビダ・パルティシパソエスや病院運営の優れたビジネスモデルを有するレダ・ディオール・サン・ルィーズを含むヘルスケアを、各々ベンチマークに対してオーバーウェイトに維持しました。

個別銘柄としては、素材のヴァーレ、銀行のイタウ・ユニバンコ・ホールディング、各種金融のバンコBTGパクチュアルなどの組入比率をベンチマークに対してオーバーウェイトに維持しました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドの基準価額は、分配金再投資ベースで4.0%の下落となり、ベンチマークの騰落率(+0.2%)を下回りました。

<プラス要因>

アンダーウェイトにしていた食品・生活必需品小売りのセンダス・ディストリブイドラが競争の激化、食品価格上昇の鈍化、金利上昇等により株価が下落、同じくアンダーウェイトにしていた小売のアメリカナスでは破産申請があったことなどから株価が大幅に下落、またオーバーウェイトにしていた小売のメルカドリブレでは、市場シェアの拡大等から収益性が強化され株価が大幅に上昇し、各々プラス寄与となりました。

<マイナス要因>

アンダーウェイトにしていた大手銀行のブラジル銀行は金利上昇に伴い株価が上昇、オーバーウェイトにしていたヘルスケア機器・サービスのハブピダ・パルティシパソエスでは救急医療、検査、入院患者の急増やM&Aによるコスト増加等により2022年第四半期の業績が不振だったことなどから株価が大幅に下落、さらにオーバーウェイトにしていた小売のロジャス・レナーでは気温の低下などが短期的な業績を圧迫したとして2022年第3四半期の売り上げが予想を下回り株価下落となったことなどから、各々マイナス寄与となりました。

分配金について

第59期および第60期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、いずれも分配なしとさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

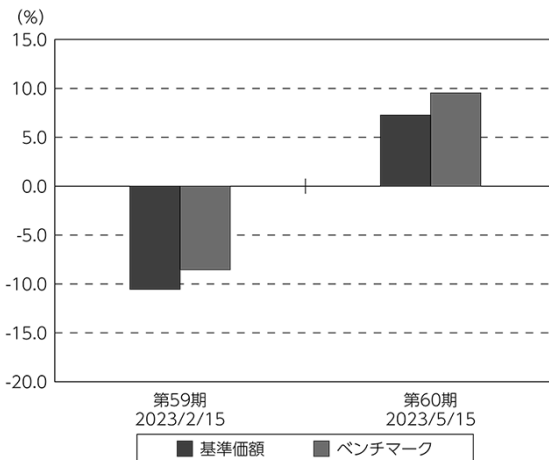
(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第59期	第60期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%	— —%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	4,370	4,444

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) 当ファンドのベンチマークは、MSCIブラジル10/40指数(円ベース)です。

今後の運用方針

ブラジル政府は2023年4月に従来の歳出上限法に代わる財政均衡法案を議会に提出しました。同法案では2024年に基礎的財政収支（ある年に必要になる社会保障などの政策経費について、その年の税収などでの程度賄えているかを示す指標）の赤字はゼロになるとしています。この法案に対して市場は相応に評価しており、今後の議会動向が注目されます。

中長期的な観点では、主要輸出国である中国の経済活動再開を背景とした同国向けの輸出の拡大見込み、金融緩和への政策転換期待、税制および労働市場改革などがブラジルの経済ひいては株式市場にとりプラスに働くと思われます。加えて、バリュエーションも魅力的な水準にあり、ブラジル株式は引き続き魅力的な投資対象市場であると考えます。

<HSBC ブラジル株式ファンド（3ヶ月決算型）>

「HSBC ブラジル ニューマザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC ブラジル ニューマザーファンド>

収益性とバリュエーションの両面で妙味がある銘柄を選好しています。セクター別には、一般消費財、金融などをオーバーウェイトに維持する一方、通信、エネルギーなどをアンダーウェイトとしています。

金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルリアル建株式を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルリアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、株式を購入するための為替取引に対しては当作成期末現在の課税は0%です。一方、株式の売買、ブラジルリアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルリアル建ての株式を購入いたします。その際の為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに株式を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常の場合、受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年11月16日～2023年5月15日)

項 目	第59期～第60期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(30)	(0.600)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(19)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.021	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.020)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.001)	
(c) そ の 他 費 用	9	0.174	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.123)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(2)	(0.041)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	62	1.231	
作成期中の平均基準価額は、5,050円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

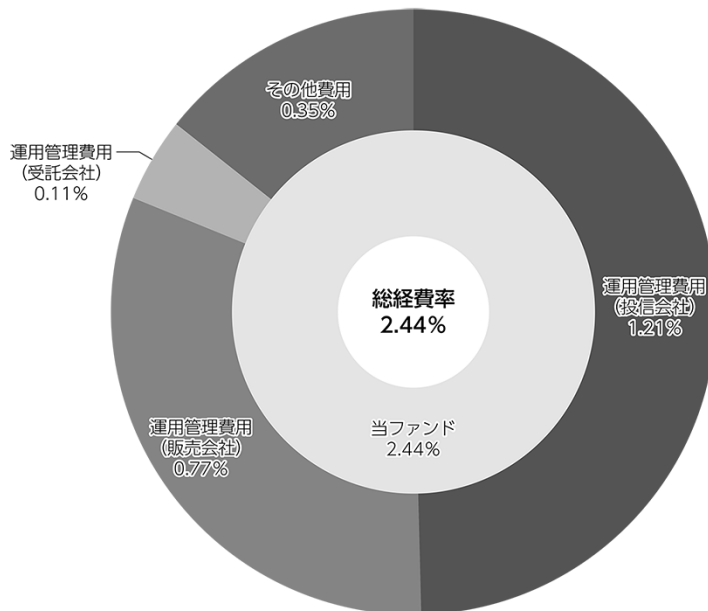
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.44%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年11月16日～2023年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第59期～第60期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
HSBC	ブラジル ニューマザーファンド	69,776	46,337	57,077	38,660

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年11月16日～2023年5月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第59期～第60期	
	HSBC ブラジル ニューマザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	137,397千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	731,014千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.18	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月16日～2023年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第58期末	第60期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
HSBC	ブラジル ニューマザーファンド	1,122,237	1,134,936	822,261

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	第60期末	
	評 価 額	比 率
HSBC ブラジル ニューマザーファンド	千円 822,261	% 99.9
コール・ローン等、その他	1,165	0.1
投資信託財産総額	823,426	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC ブラジル ニューマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(813,722千円)の投資信託財産総額(827,442千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=136.05円、1ブラジルレアル=27.6301円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第59期末	第60期末
	2023年2月15日現在	2023年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	760,472,093	823,426,571
HSBC ブラジル ニューマザーファンド(評価額)	759,891,788	822,261,766
未収入金	580,305	1,164,805
(B) 負債	4,864,222	5,348,936
未払解約金	580,305	1,164,805
未払信託報酬	4,088,332	3,806,450
その他未払費用	195,585	377,681
(C) 純資産総額(A-B)	755,607,871	818,077,635
元本	1,519,404,452	1,533,626,039
次期繰越損益金	△ 763,796,581	△ 715,548,404
(D) 受益権総口数	1,519,404,452口	1,533,626,039口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,973円	5,334円

(注) 当ファンドの第59期首元本額は1,498,934,604円、第59～60期中追加設定元本額は94,165,809円、第59～60期中一部解約元本額は59,474,374円です。

(注) また、1口当たり純資産額は、第59期0.4973円、第60期0.5334円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況

項 目	第59期	第60期
	2022年11月16日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年5月15日
	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 82,692,083	60,613,144
売買益	1,311,213	63,740,772
売買損	△ 84,003,296	△ 3,127,628
(B) 信託報酬等	△ 4,283,917	△ 3,988,546
(C) 当期損益金(A+B)	△ 86,976,000	56,624,598
(D) 前期繰越損益金	20,569,880	△ 64,989,742
(E) 追加信託差損益金	△ 697,390,461	△ 707,183,260
(配当等相当額)	(527,570,633)	(536,854,736)
(売買損益相当額)	(△1,224,961,094)	(△1,244,037,996)
(F) 計(C+D+E)	△ 763,796,581	△ 715,548,404
(G) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 763,796,581	△ 715,548,404
追加信託差損益金	△ 697,390,461	△ 707,183,260
(配当等相当額)	(527,733,604)	(536,949,195)
(売買損益相当額)	(△1,225,124,065)	(△1,244,132,455)
分配準備積立金	136,261,085	144,642,592
繰越損益金	△ 202,667,205	△ 153,007,736

(注) (A) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第59期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,679,907円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(527,733,604円)および分配準備積立金(123,581,178円)より分配対象収益は663,994,689円(10,000口当たり4,370円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 第60期計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,287,832円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(536,949,195円)および分配準備積立金(133,354,760円)より分配対象収益は681,591,787円(10,000口当たり4,444円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、1,699,813円です。

○分配金のお知らせ

	第59期	第60期
1万口当たり分配金(税込み)	0円	0円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの部分(特別分配金)は普通分配金となります。元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

ありません。

◆親投資信託「HSBC ブラジル ニューマザーファンド」の運用状況
第15期（2022年5月17日～2023年5月15日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にブラジルの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。MSCIブラジル10/40指数（円ベース）をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの証券取引所に上場している株式等に投資します。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIブラジル 10/40指数 (円ベース) (ベンチマーク)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落中率 %	円	騰落中率 %			
11期(2019年5月15日)	7,746	△1.3	8,903	1.2	96.5	—	百万円 1,167
12期(2020年5月15日)	4,311	△44.3	5,357	△39.8	94.9	—	673
13期(2021年5月17日)	6,917	60.5	9,121	70.3	97.4	—	980
14期(2022年5月16日)	6,929	0.2	9,688	6.2	96.2	—	857
15期(2023年5月15日)	7,245	4.6	10,738	10.8	94.5	—	822

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 「株先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

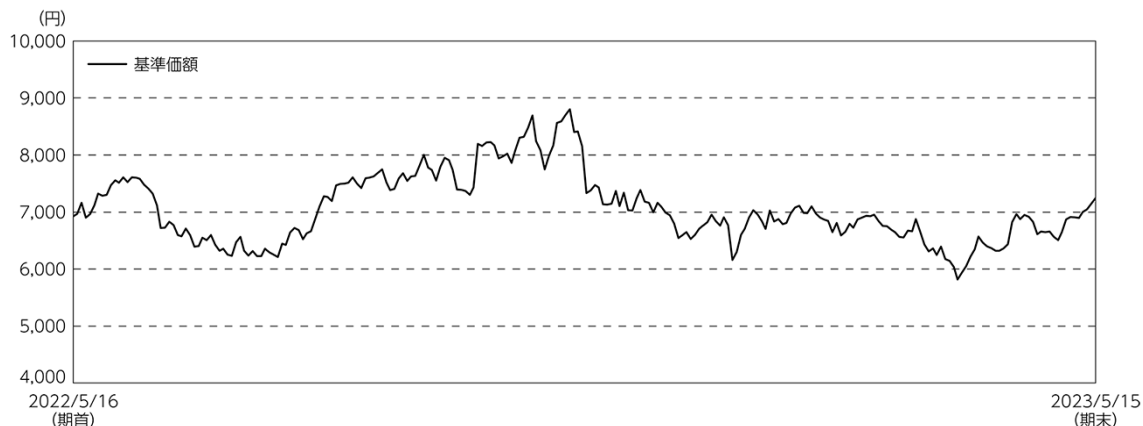
年 月 日	基 準 価 額		M S C I ブ ラ ジ ル 1 0 / 4 0 指 数 (円 ベ ー ス) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022年5月16日	円 6,929	% —	9,688	% —	% 96.2	% —
5月末	7,516	8.5	10,641	9.8	95.4	—
6月末	6,595	△ 4.8	9,257	△ 4.4	94.9	—
7月末	6,720	△ 3.0	9,495	△ 2.0	95.5	—
8月末	7,519	8.5	10,826	11.7	96.0	—
9月末	7,302	5.4	10,359	6.9	97.8	—
10月末	8,167	17.9	11,570	19.4	98.4	—
11月末	7,246	4.6	10,360	6.9	94.7	—
12月末	6,764	△ 2.4	9,819	1.4	94.4	—
2023年1月末	6,977	0.7	10,103	4.3	95.0	—
2月末	6,751	△ 2.6	9,811	1.3	96.9	—
3月末	6,567	△ 5.2	9,580	△ 1.1	93.6	—
4月末	6,647	△ 4.1	9,828	1.4	94.6	—
(期 末) 2023年5月15日	7,245	4.6	10,738	10.8	94.5	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第15期：2022年5月17日～2023年5月15日）



基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入上位に維持した資本財のウェグ、エネルギーのペトロラス、銀行のイタウ・ユニバンコ・ホールディングなどの株価が大幅に上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルリアルが対円で大幅に上昇し、基準価額にプラスに働きました。

<下落要因>

組入上位に維持したブラデスコ銀行、素材のヴァーレなどの株価が下落し、基準価額にマイナスに寄与しました。

投資環境について

【株式市況】

当期のブラジル株式市場では、ボブスバ指数が前期末比で1.4%上昇しました。株式市場は期初から2022年6月初旬までは上昇したものの、米国の利上げペース加速への警戒感、世界的な成長鈍化懸念などによる投資家のリスク回避志向の高まりから7月中旬にかけて下落傾向となりました。その後、国内インフレ率の落ち着き、連邦議会選挙における右派で市場重視の自由党の躍進などを背景に10月中旬にかけては途中上下動を見せながらも上昇傾向に転じたのち、ルラ次期大統領（当時）の財政政策を巡る根強い不透明感に伴い12月中旬にかけては下落傾向となりました。2023年1月末にかけては主要輸出国である中国の景気回復への期待の高まりから値を戻す展開となりましたが、3月下旬にかけては国内の財政を巡る懸念や米国の利上げペース再加速への警戒感などにより下落傾向となりました。期末にかけては国内のインフレ率の低下に伴う利下げ期待などを背景に上昇傾向に転じました。

【為替相場】

当期のブラジルリアルは円に対して前期末比で9.0%上昇しました。ブラジルリアルは対円で期初から2022年7月下旬まで一定範囲内で推移したのち、継続的な利上げなどから11月初旬にかけて途中上下動を見せな

からも上昇基調となりました。その後、日本の大規模金融緩和の一部修正やルラ次期大統領（当時）の財政政策を巡る根強い不透明感などから2023年1月初旬にかけて下落傾向となりました。期末にかけては、インフレの落ち着きや議会に提出された財政均衡法案などを背景に、ブラジルレアルの対円相場は途中上下動を見せながらも上昇傾向に転じました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

セクター別では、世界的なコモディティ価格の上昇を追い風とする素材、堅調な消費の恩恵を受けると考えられる一般消費財、合併による相乗効果が期待されるハブビダ・パルティシパソエスや病院運営の優れたビジネスモデルを有するレデ・ディオール・サン・ルーズを含むヘルスケアを、各々ベンチマークに対してオーバーウェイトに維持しました。

個別銘柄としては、銀行のイタウ・ユニバンコ・ホールディング、各種金融のバンコBTGパクチュアル、公益事業のブラジル中央電力などの組入比率をベンチマークに対してオーバーウェイトに維持しました。

今後の運用方針

投資環境の見通し

ブラジル政府は2023年4月に従来の歳出上限法に代わる財政均衡法案を議会に提出しました。同法案では2024年に基礎的財政収支（ある年に必要になる社会保障などの政策経費について、その年の税収などでどの程度賄えているかを示す指標）の赤字はゼロになるとしています。この法案に対して市場は相応に評価しており、今後の議会動向が注目されます。

中長期的な観点では、主要輸出国である中国の経済活動再開を背景とした同国向けの輸出の拡大見込み、金融緩和への政策転換期待、税制および労働市場改革などがブラジルの経済ひいては株式市場にとりプラスに働くと思われます。加えて、バリュエーションも魅力的な水準にあり、ブラジル株式は引き続き魅力的な投資対象市場であると考えます。

運用方針

収益性とバリュエーションの両面で妙味がある銘柄を選好しています。セクター別には、一般消費財、金融などをオーバーウェイトに維持する一方、通信、エネルギーなどをアンダーウェイトとしています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年5月17日～2023年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 4	% 0.051	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.050)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(b) そ の 他 費 用	34	0.485	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(34)	(0.484)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	38	0.536	
期中の平均基準価額は、7,064円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2022年5月17日～2023年5月15日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	米国	百株 0.98	千米ドル 98	百株 22	千米ドル 66
	ブラジル	2,491 (230)	千ブラジルリアル 5,990 (288)	2,855 (153)	千ブラジルリアル 7,153 (325)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米国	口	千米ドル	口	千米ドル
	iShares MSCI BRAZIL ETF	7,379	204	2,029	58

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年5月17日～2023年5月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	372,350千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	783,825千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.47

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月17日～2023年5月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 221	百万円 31	% 14.0

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2023年5月15日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(米国)	百株	百株	千米ドル	千円		
VALE SA-SP ADR	22	—	—	—	素材	
MERCADOLIBRE INC	—	0.69	88	12,012	一般消費財・サービス流通・小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額	22	0.69	88	12,012	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.5% >	
(ブラジル)			千ブラジルレアル			
BRF SA	69	67	49	1,371	食品・飲料・タバコ	
VALE SA	223	279	1,900	52,507	素材	
CENTRAIS ELETRICAS BRASILEIRAS S. A.	179	239	941	26,018	公益事業	
CENTRAIS ELETRICAS BRASILEIRAS-ELECTRO	139	190	670	18,531	公益事業	
BANCO DO BRASIL SA	61	121	535	14,787	銀行	
ITAUSA SA (PFD)	528	563	505	13,959	金融サービス	
GERDAU SA - PREF	467	370	899	24,844	素材	
PETROBRAS PN	901	687	1,805	49,876	エネルギー	
WEG SA	280	497	1,933	53,431	資本財	
BANCO BRADESCO SA-PREF	1,711	948	1,466	40,523	銀行	
BRADESCO SA -PREF	340	117	254	7,044	金融サービス	
SUZANO S. A.	299	216	916	25,328	素材	
ITAU UNIBANCO HOLDING SA	1,325	1,075	2,892	79,929	銀行	
LOCALIZA RENT A CAR	282	228	1,405	38,846	運輸	
LOJAS RENNER SA	469	468	788	21,791	一般消費財・サービス流通・小売り	
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO	586	530	864	23,884	エネルギー	
TOTVS SA	20	229	639	17,672	ソフトウェア・サービス	
JBS SA	124	121	195	5,395	食品・飲料・タバコ	
SLC AGRICOLA SA	82	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
CIA SANEAMENTO BASIC DE SP	—	142	738	20,394	公益事業	
MAGAZINE LUIZA SA	807	1,124	484	13,385	一般消費財・サービス流通・小売り	
ENERGISA SA-UNITS	122	119	524	14,496	公益事業	
RAIA DROGASIL SA	118	115	321	8,881	生活必需品流通・小売り	
BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	71	69	235	6,512	保険	
HAPVIDA PARTICIPACOES E INVE	1,444	1,875	585	16,169	ヘルスケア機器・サービス	
ATACADA0 SA	407	402	399	11,051	生活必需品流通・小売り	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	1,008	1,074	1,379	38,102	金融サービス	
AMBEV SA	824	837	1,209	33,417	食品・飲料・タバコ	
KLABIN SA	72	70	140	3,877	素材	
NATURA &CO HOLDING SA	204	198	261	7,221	家庭用品・パーソナル用品	
BANCO INTER SA-UNITS	153	—	—	—	銀行	
3R PETROLEUM OLEO E GAS SA	89	—	—	—	エネルギー	
REDE D'OR SAO LUIZ SA	238	231	588	16,249	ヘルスケア機器・サービス	
VIBRA ENERGIA SA	131	127	182	5,052	一般消費財・サービス流通・小売り	
INTER & CO INC - BDR	—	60	70	1,954	銀行	
PETRO RIO SA	—	149	514	14,203	エネルギー	
BANCO BTG PACTUAL SA-UNIT	596	544	1,386	38,313	金融サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	14,373	14,086	27,688	765,030	
	銘柄 数 < 比 率 >	34	34	—	< 93.0% >	
合 計	株 数 ・ 金 額	14,396	14,087	—	777,043	
	銘柄 数 < 比 率 >	35	35	—	< 94.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) —印は組み入れなし。

(注) 業種等は、世界産業分類基準 (G I C S[®]) に基づく業種名を採用しております。

(注) 銘柄コードの変更があった場合は、別銘柄として掲載しています。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(米国)	口	口	千米ドル	千円	%
iShares MSCI BRAZIL ETF	—	5,350	159	21,690	2.6
合 計	口 数 ・ 金 額	—	5,350	159	21,690
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 2.6% >

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 777,043	% 93.9
投資証券	21,690	2.6
コール・ローン等、その他	28,709	3.5
投資信託財産総額	827,442	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産（813,722千円）の投資信託財産総額（827,442千円）に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=136.05円、1ブラジルレアル=27.6301円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	827,442,906
コール・ローン等	19,723,573
株式(評価額)	777,043,068
投資証券(評価額)	21,690,451
未収配当金	8,985,814
(B) 負債	5,198,691
未払金	4,033,553
未払解約金	1,164,805
未払利息	28
その他未払費用	305
(C) 純資産総額(A-B)	822,244,215
元本	1,134,936,876
次期繰越損益金	△ 312,692,661
(D) 受益権総口数	1,134,936,876口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,245円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

≪注記事項≫

※期首元本額	1,237,093,388円
期中追加設定元本額	121,195,485円
期中一部解約元本額	223,351,997円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
H S B C ブラジル株式ファンド(3ヶ月決算型)
1,134,936,876円

○損益の状況 (2022年5月17日～2023年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	67,046,449
受取配当金	66,948,510
受取利息	102,963
その他収益金	592
支払利息	△ 5,616
(B) 有価証券売買損益	△ 15,878,585
売買益	119,361,642
売買損	△135,240,227
(C) 保管費用等	△ 3,972,569
(D) 当期損益金(A+B+C)	47,195,295
(E) 前期繰越損益金	△379,959,723
(F) 追加信託差損益金	△ 37,717,243
(G) 解約差損益金	57,789,010
(H) 計(D+E+F+G)	△312,692,661
次期繰越損益金(H)	△312,692,661

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

ありません。